

伊勢赤十字病院における NST 活動の現状と将来展望

伊勢赤十字病院 1)栄養課、2)消化器内科、3)外科、4) 看護部、5)薬剤部

大山真以 1)、竹尾圭子 1)、川口真矢 2)、藤井幸治 3)、中野幸子 4)、梅村千恵 4)、谷口知慎 5)

【目的】立ち上げから現在までの当院 NST の活動内容を集計・報告すると共に、活動における問題点や今後の課題を明らかにする。

【結果】

当院は 655 床、年間約 23 万人の入院患者を診療する総合病院で、伊勢志摩地域を中心とした医療圏において地域支援型病院として機能している。NST 活動開始当初は年間症例数 539 例程度であったが、嚥下チームとの協働や NST スクリーニングの導入などにより徐々にその数が増加している。NST にかかわる職種は 8 職種、NST 回診は週 5 日・9 回診行い、さらに TNT 取得医師も年々増加し、医師のみならず多職種・多チーム同士が連携をとることにより NST 活動が円滑かつ活発に行われ、患者の栄養改善に寄与している。現在では、平成 22 年度より導入された栄養サポートチーム加算の年間算定件数が 2000 件を超えるようになってきた。

【結語】

現在、NST が認知され活発に活動を行うことができるようになり、徐々に成果をあげている。今後も更なる NST 活動の拡大を目指す。